

令和元年10月1日から幼児教育・保育の無償化がスタート

認可外保育施設、一時預かり事業、病児保育事業、ファミリー・サポート・センター事業を利用される方はご確認ください。

1 無償化の対象者・利用料

【対象者・保育料】

○無償化の対象となるには、お住まいの市町村から＜保育の必要性の認定＞を受ける必要があります。

※＜保育の必要性の認定＞要件は、就労等の要件（認可保育所や認定こども園2号と同等）がありますのでお住いの市町村にお問い合わせください。

○保育所・認定こども園などの認可施設や企業主導型保育事業を利用していない方のみ無償化の対象となります。

○以下のとおり利用料が無償化されます。

3歳児クラスから5歳児クラスまでの子どもは

月額37,000円まで

0歳児クラスから2歳児クラスの住民税非課税世帯の子どもは、

月額42,000円まで

※3歳児クラス：4月1日時点で3歳の誕生日を迎えている子どものクラス（年少クラス）

○幼稚園や認定こども園（1号認定）の園を利用している場合、その園の預かり保育提供時間が一定基準未満の場合は、認可外保育施設等の利用部分も一部無償化の対象となります。

※3歳児クラス：4月1日時点で3歳の誕生日を迎えている子どものクラス（年少クラス）

○通園送迎費、食材料費、行事費などは、これまでどおり保護者の負担となります。

【対象となる施設・事業】

●認可外保育施設

●一時預かり事業（保育所等で実施される一時預かり）

●病児保育事業

●ファミリー・サポート・センター事業

※認可外保育施設とは、一般的な認可外保育施設や認可外の事業所内保育施設等を指します。

※無償化の対象となる認可外保育施設は、小林市に届出を行い、国が定める基準を遵守し、小林市から確認を受けている施設のみとなります。

○以下の支給要件に該当する場合、小林市から保育の必要性の認定が受けられます。

認定区分	支給要件
新2号認定	<満3歳に達する日以降最初の3月31日を経過した> 子どもで、保育を必要とする要件(保護者ごとに就労等)がある子ども
新3号認定	0歳から <満3歳に達する日以降最初の3月31日を経過まで> の間にある子どもで、保育を必要とする要件(保護者ごとに就労等)があるもののうち、住民税非課税世帯の子ども

【保育を必要とする要件】

●以下のいずれかの内容に該当する必要があります。

- ① 就労(フルタイム、パートタイム、夜間、居宅内労働など) ※月60時間以上
- ② 妊娠、出産
- ③ 保護者の疾病、障がい
- ④ 同居又は長期入院などしている親族の介護・看護
- ⑤ 災害復旧
- ⑥ 求職活動(起業準備を含む) ※90日以内
- ⑦ 修学(職業訓練校などにおける職業訓練を含む)
- ⑧ 虐待やDVのおそれがあること
- ⑨ 育児休業取得中に、既に保育を必要としている子どもがいて、継続利用が必要であること(原則年長児)
- ⑩ その他、上記類する状態として市長が認める場合

【無償化の対象となる手続き】

現行の1号認定に加え、市から新たに<新2号認定>または<新3号認定>を受けするため、**市に認定申請書を提出する**必要があります。

幼稚園や認定こども園(1号)と認可外保育施設等を利用する場合

○保護者が幼稚園や認定こども園(1号のみ)を利用し、併用して認可外保育施設等を利用する方のうち、園の預かり保育の提供がない、または預かり提供時間等の一定基準未満の場合、認可外保育施設等の利用料も無償化の対象となります。

※一定基準未満：平日の開所時間が8時間未満もしくは年間開所日数が200日未満

※認可外保育施設等：認可外保育施設、病児保育事業、ファミリー・サポート・センター事業など

※無償化限度額は、<新2号>は預かり保育の限度額11,300円まで、<新3号>は16,300円までのうち、預かり保育の無償化対象金額を上限から除いた額までが、認可外等の無償化対象額となります。

《問い合わせ》

小林市役所健康福祉部子育て支援課

電話：0984-23-1278 メール：k_kosodate@city.kobayashi.lg.jp